

参加無料

# みんなで脱炭素 はじめての一步 ワークショップ

3/13

WED

13:30-16:15

## 第1部

### 県内大学の調査事例報告会

～カーボンニュートラルに向けた行動を考えよう～ (90min)



#### 「カーボンニュートラル時代の脱炭素経営」 福井県立大学経済学部 教授 杉山友城

何故「脱炭素経営」が必要なのか？取り組むメリットは何か？  
経営財務に与える影響は？企業が脱炭素経営に取り組み始める  
際の要点を解説します。



#### 「カーボンニュートラルへ向けた福井県企業の取組み紹介」 福井工業大学経営情報学部 教授 菊池武晴

福井県内の企業においても、カーボンニュートラルへ向けた  
取組みが進んでいます。県内企業がカーボンニュートラルに取  
組む一助となるよう、様々な業種の具体的な事例を紹介します。



#### 「カーボンニュートラル技術に関するイノベーションロードマップの検討」 福井大学カーボンニュートラル推進本部 特命教授 永瀬恭一

福井大学カーボンニュートラル推進本部における開発技術の  
社会実装を担当。「イノベーション」と社会実装を同時に、新  
しいビジネスモデルを考えるヒントを紹介します。

## 会場

AOSSA 7F

大学連携センター Fスクエア

## 定員

30名 (先着順)

どなたでもご参加いただけます

## 申込

締切 3月8日(金)

QRコードよりお申込ください



## 第2部

### みんなで脱炭素をはじめる！

課題解決型ワークショップ (60min)



カーボンニュートラルディレクター  
岩井渉 (進行)



福井県カーボンニュートラル推進アドバイザー  
市川真愛



石井元

産学官金民のそれぞれの立場で抱える  
カーボンニュートラルについての課題や  
取組みを持ち寄り、今後どのように進め  
ていくと良いかを参加者全員で考えてい  
きます。ぜひお気軽にご参加ください！

## 第3部

### 福井県からのお知らせ (補助金事業など)



カーボンニュートラル  
福井コンソーシアム  
オープンフォーラム

# 県内大学の調査事例報告会

## ～カーボンニュートラルに向けた行動を考えよう～

### 【登壇者からひとこと】



#### 「カーボンニュートラル時代の脱炭素経営」 福井県立大学経済学部 教授 杉山友城

大企業を中心に脱炭素経営の実践が急速に広がっています。脱炭素経営とは、企業活動を通じた「環境」と「経済」の両立を実現するための取り組みです。伝統的な「ヒト・モノ・カネ」に加えて「環境」を新たな経営資源のひとつとして位置づけて活用することで、持続可能な企業、永続する企業になるための経営戦略でもあります。

昨今では、サプライチェーン全体でのカーボンニュートラルの達成への要請が強くなっており、今後は、大企業のみならず、中小企業に対しても、本格的な対応や取り組みが強く求められることが想定されます。

何故「脱炭素経営」が必要なのかを改めて概観したうえで、脱炭素経営に取り組むメリットは何か、脱炭素経営の実践が経営財務（BS・PL）に対してどのような影響を与えるのかを提示するとともに、企業が脱炭素経営に取り組む際の要点を解説します。



#### 「カーボンニュートラルへ向けた福井県企業の取り組み紹介」 福井工業大学経営情報学部 教授 菊池武晴

カーボンニュートラルへ向けた福井県内企業の動向を把握し、まだ取り組みに至っていない企業の参考事例とすべく、県内7社にヒアリングを実施しました。大学における研究との連携も念頭に置き、製造業5社（うちB to B 4社、B to C 1社）、ホテル旅館1社、物流業1社のヒアリング結果を報告します。業種や海外顧客対応の有無により、脱炭素経営への危機感は相当異なるという印象ですが、まだ比較的のんびりしている業界も近い将来対応を迫られるという点、さらにこの流れを経営差別化に繋げようとする考え方は、共通した認識でありました。

また、脱炭素対応は1社のみでは実現するのは難しいことから、「産学官連携」がキーワードです。そこで、大学研究と企業との連携を促進するために、県内大学の研究シーズを企業業種別に見やすくしたシートを整備中ですので、そのご紹介も予定しています。



#### 「カーボンニュートラル技術に関するイノベーションロードマップの検討」 福井大学カーボンニュートラル推進本部 特命教授 永瀬恭一

カーボンニュートラルの達成には課題が山積みで担当者の皆さんは大変苦勞されていると思いますが、「イノベーション」と同時に、新しいビジネスを創出できる好機だと捉えることが可能ではないでしょうか。

普段の技術開発では、明確に決まっている課題や目標に邁進されていると思いますが、『破壊的なイノベーション』を起こすには、視野を広くもって、新たなビジネスモデルの構築が必要かもしれません。開発した技術が社会実装された姿を想像して整理することで、新しいビジネスを考えてみては如何でしょうか。

福井大学カーボンニュートラル推進本部では、『福井の自然を活かし開発者が楽しみながらイノベーションにチャレンジ』しています。新しい技術のロードマップを考えることで、皆さんの新しいチャレンジを始める契機になればと思います。